

とくしまボランティアパスポートの概要

とくしまボランティアパスポートとは？

徳島県の地域の課題解決に挑戦し、地域社会に貢献できる人材を育成することを目的に、県と徳島大学、徳島文理大学が共同で開発し、学生の皆さんが県内各地域でボランティア活動に従事した際に、その活動記録を証明するためのものです。

大学：学生の地域でのボランティア活動を単位として認定（所定講義や体験実習会実施）

徳島県：緑・赤・青の3段階のパスポートを製作，ボランティア情報の提供，表彰制度の創設→学生の地域でのボランティア活動を促進し、学生の力で地域の活性化・課題解決！



とくしまボランティアパスポートの仕組み

1st 緑のパスポート

- ・所定講義(教養教育科目「地域科学教育科目(ボランティアパスポート入門)」)に履修登録した学生に配付
- ・所定講義の受講とボランティア活動に40時間以上従事
- ・パスポートと所定のレポートを大学に提出

2単位

2nd 赤のパスポート

- ・緑のパスポート修了者に配付
- ・+40時間のボランティア活動に従事(累計80時間)
- ・パスポートと所定のレポートを大学に提出

修了証授与

3rd 青のパスポート

- ・赤のパスポート修了者に配付
- ・+40時間のボランティア活動に従事(累計120時間)
- ・パスポートと所定のレポートを大学に提出

知事表彰